



プレスリリース

平成22年1月29日
内閣府食品安全委員会

X国産の果実Qからいわゆる「新型」のノロウイルスが検出されたとの報道について

食品安全委員会から国民のみなさまへ

- ノロウイルスに関して、以下の理由から重症化や被害の拡大を心配する必要はありません。
- X国産の果実Qを原料に使用した菓子による食中毒が発生し、患者さんなどからいわゆる「新型」のノロウイルスが検出されたと一部で報道されていますが、国民のみなさまにおかれましては、冷静に対応下さい。

1 ノロウイルスについて

- ① 今回の発生事例に関する国内及び海外の患者さんの症状では、下痢、腹痛、嘔吐、発熱を中心とした症状が中心であり、重症化することは報告されていません。
- ② ノロウイルスには多くのタイプがあり、また、過去に変異したタイプのノロウイルスによる食中毒事例においても、重症化した事例はありません。
- ③ ノロウイルスによる食中毒の予防のためには、徹底した手洗いに努めてください。

2 食中毒の原因となった果実Qの輸入は停止されています。厚生労働省によると、原因はX国の特定の業者でパックされたものに限定されており、国内においても、原因となった果実Qは回収されていることから、この食品による食中毒の被害の拡大はありません。

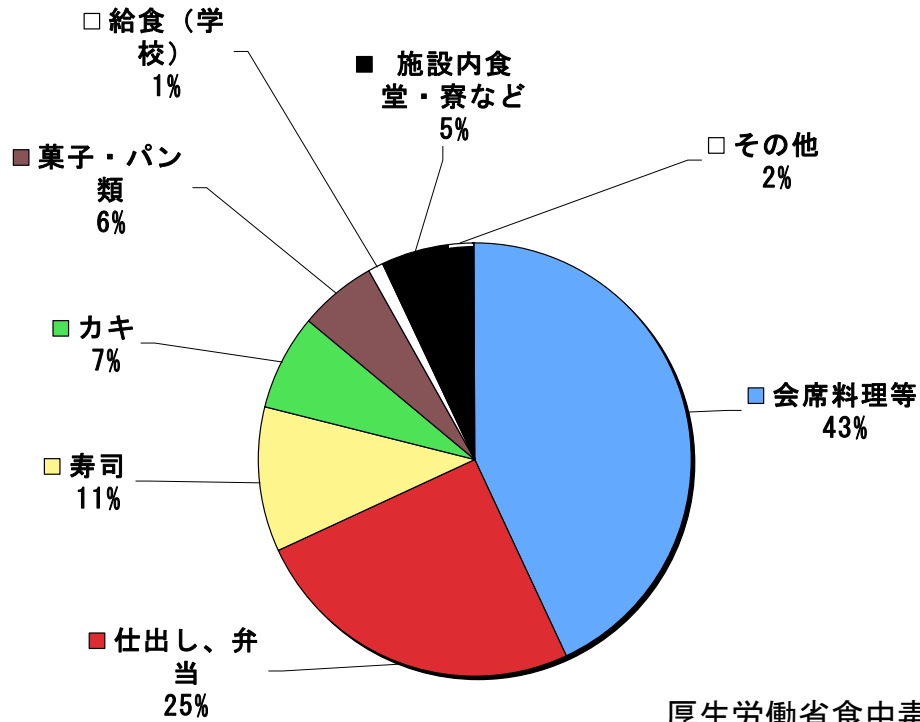
【問合せ先】

内閣府食品安全委員会事務局

情報・緊急時対応課 ●●●

電話：03-△△△△-□□□□

ノロウイルスによる食中毒の原因食品・食事(平成20年度)



ノロウイルス食中毒の発生推移

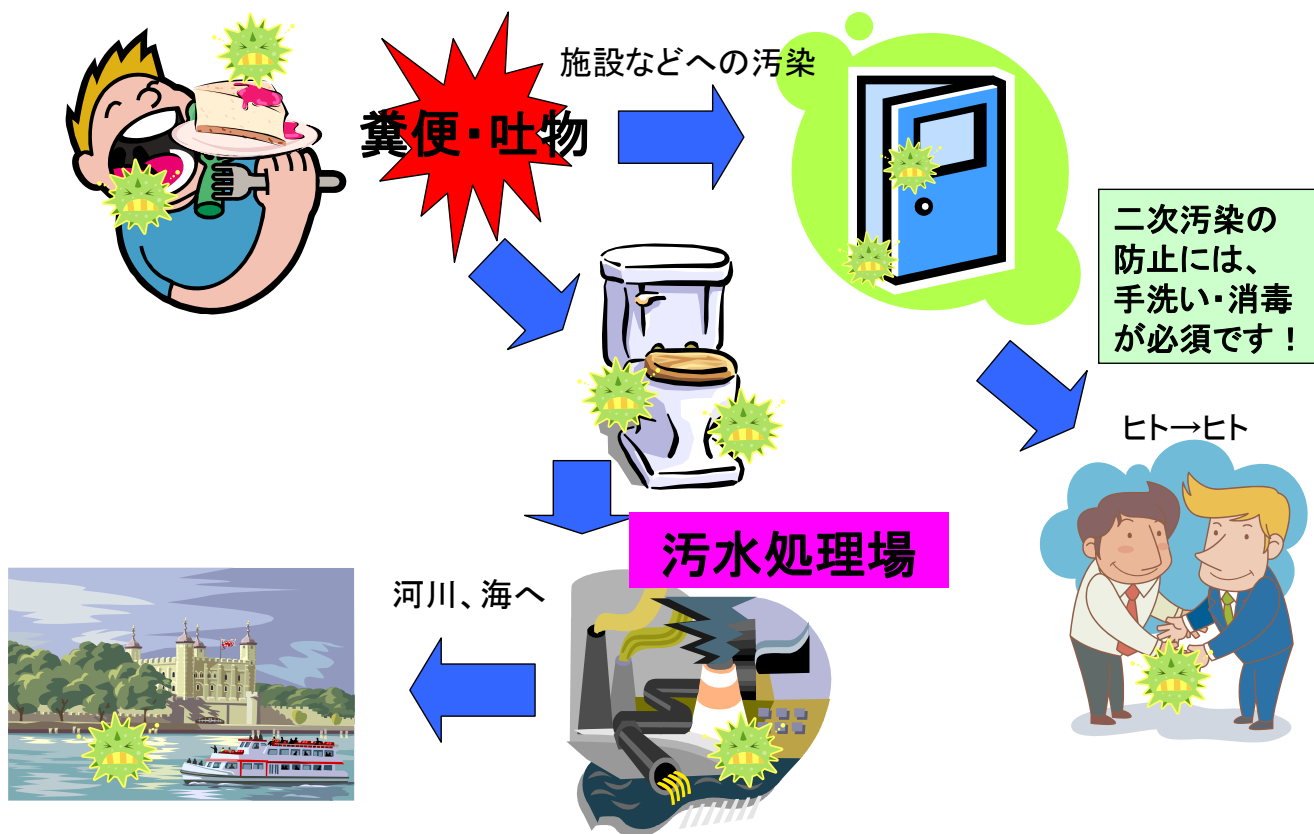
	発生件数	患者数	死者数	備考※
15年	278	10,604	0	○不明(レストラン作成の弁当、レストランの食事): 患者数790名、死者数0名 ○きなこねじりパン: 患者数661名、死者数0名
16年	277	12,537	0	—
17年	274	8,727	0	—
18年	499	27,616	0	○不明(仕出し弁当): 患者数1734名、死者数0名 ○不明(仕出し弁当): 患者数801名、死者数0名 ○不明(弁当): 患者数781名、死者数0名 ○不明(仕出し弁当): 患者数710名、死者数0名 ○ロールキャベツ: 患者数585名、死者数0名 ○不明: 患者数507名、死者数0名
19年	344	18,520	0	○かみかみ和え(推定): 患者数864名、死者数0名
20年	303	11,618	0	○不明(弁当): 患者数749名、死者数0名

※患者数500名以上の事例について備考に記載した
厚生労働省食中毒監視統計

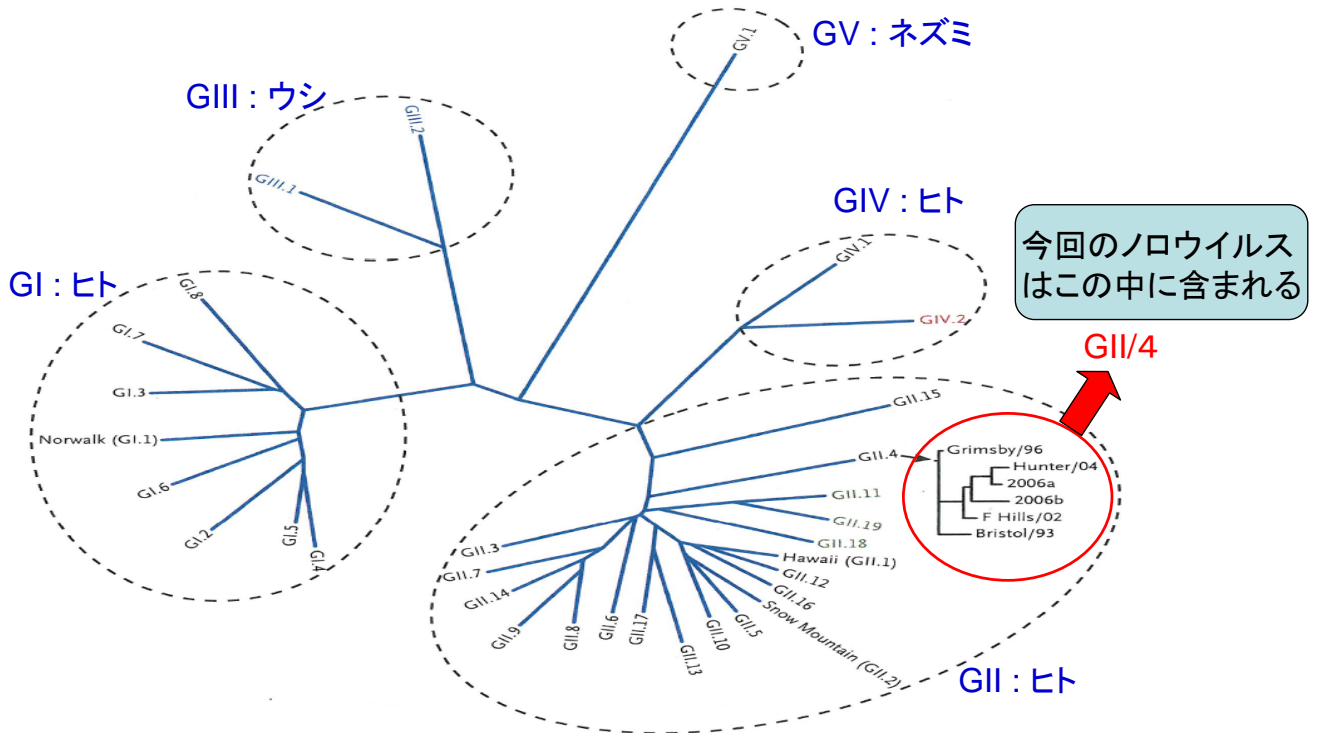
ノロウイルス感染症の症状等について

- 症状：吐き気、下痢、嘔吐、腹痛、38度以下の発熱
通常4日程度以内で自然治癒
- 潜伏期間：24～48時間
- 過去の事例で原因となった食品
国内：サンドイッチ、サラダ、井戸水、パン、貝類など
海外：果実類（ラズベリー）、井戸水、貝類など
- 治療法：対症療法としての補液療法
- 予防法
 - ・食品は中心部まで充分に加熱（85℃、1分以上）
 - ・野菜などの生鮮食品は充分に洗浄
 - ・手指をよく洗浄・消毒

ノロウイルス感染経路



ノロウイルスの変異について



出典: Roger I. Glass 他 (New England Journal of Medicine 2009, vol. 361, no. 18, p. 1776-1785)